

バングラデシュ ハシナ首相訪日関連行事について

1. 國分委員長によるハシナ首相への表敬訪問



國分文也日本・バングラデシュ経済委員会委員長（丸紅取締役会長）は4月26日、迎賓館にてハシナ首相を表敬訪問した。表敬訪問には、岩間公典駐バングラデシュ日本大使、西谷事務総長が同席した。

國分委員長は冒頭、日本・バングラデシュ経済委員会が設立された1980年以降、本委員会がバングラデシュ商工会議所連盟とともに日本とバングラデシュの経済発展に貢献してきたことに触れ、翌27日にJETROなどと共催でバングラデシュ貿易・投資サミットを開催することを伝えた。

続いて、第5回日本・バングラデシュ官民合同経済対話（PPED）に4月11日、参加したことを報告し、官民合同経済対話が今まで進出日本企業が直面する税や為替に関する問題や税関手続きの遅れなどの解決の場となり、日本企業の投資拡大に貢献してきたことに言及し、できる限り早期に東京で第6回PPEDが開催されることについて期待を表明した。

また、ハシナ政権の力強いリーダーシップにより経済発展と貧困率低下が進み、生活水準が着実に向上したことで2026年に後発発展途上国（LDC）卒業が決定したことに祝意を示した。一方、LDC卒業に伴い、特恵関税が廃止されることでバングラデシュの輸出の8割を占める繊維産業へ深刻な懸念を示すとともに、昨年12月に日・バングラデシュ経済連携協定（EPA）に関する共同研究会が設置されたことに触れて、今後、円滑に議論が進められ、早期に結論が出されることを期待したいと述べた。

これに対して、ハシナ首相は國分氏の日バ経済委員会委員長就任をお祝いしたい。日本とバングラデシュの二国間経済関係にとっての重要な役職であり、活躍を期待すると述べた。

また、バングラデシュには若くて優秀な人材が多数おり、人件費も低廉である。地理的にもマタバリ開発により南アジアのみならず、東南アジアへのアクセスについてもメリットがあると触れた他、ハイテクパークはICT事業者にとってビジネスチャンスとなると述べて、日本企業のバングラデシュへのさらなる進出に期待を表明した。

2. 「Bangladesh Trade & Investment Summit」における小林会頭挨拶と日商とBangladesh 商工会議所連盟（FBCCI）とのMOU締結



日本・Bangladesh 経済委員会は 4 月 27 日、ハシナ首相ご臨席の下、JETRO、Bangladesh 証券取引委員会（BSEC）、Bangladesh 投資開発庁（BIDA）と共催で、Bangladesh 貿易・投資サミットを都内で開催した。日本、Bangladesh 双方の関係者約 580 名が出席した。日本・Bangladesh 経済委員会からは顧問を務める日本商工会議所小林会頭、鈴木善久共同委員長（伊藤忠商事専務理事）らが出席した。

小林健日商会頭は冒頭、前日に開催された日本・Bangladesh 首脳会談で両国の関係が戦略的パートナーシップへ格上げされたことに祝意を表した。また、日商とBangladesh の関係は 1974 年 1 月、永野重雄会頭（当時）が率いる経済使節団がダッカを訪れ、「建国の父」とも呼ばれるムジブル・ラーマン首相閣下に歓迎されたことに始まることに触れた。また、「日商が日本・Bangladesh 経済委員会を設立して以来、Bangladesh 商工会議所連盟（FBCCI）と親密かつ建設的に協力し、経済関係のさらなる強化に努めている」と述べた。挨拶終了後、11 の両国の企業・団体による MOU 締結セレモニーにおいて、小林会頭は日商とBangladesh 商工会議所連盟（FBCCI）による両国の経済関係強化のための協力覚書を締結した。

中谷真一経済産業省副大臣は「Bangladesh がサプライチェーンの多元化及び質の高い人材の集積地として、加えて、ASEAN と並ぶ戦略的拠点として、我が国企業に認識されることが重要と考えられる。経済産業省も、日本企業の更なるBangladesh シフトをサポートすべく、取組を強化している。」と述べた。

ハシナ首相は「Bangladesh は 1971 年にパキスタンから独立、1973 年に建国の父、ボンゴボンドウ・ムジブル・ラーマン首相が初めて訪日して田中角栄首相（当時）と会談した。両国友好関係はここから始まり、昨年は国交樹立 50 周年を迎えた。私は 1996 年に政権について以来、ベンガルの地に近代国家を建設する為、仲間達と努力を続けて来た。Bangladesh は 2026 年に LDC を卒業することが決まり、政府はその後の国家の姿を Vision41 として昨年策定した。Bangladesh は 2041 年までにスマート・Bangladesh を実現すべく、あらゆる努力を継続する。本日、Bangladesh への投資 MOU を締結された日本企業の成功を期待している。是非、日本は引き続きBangladesh への投資を促進してほしい。Bangladesh への投資は大きな成果を上げるものと、私は信じている。」と述べた。

以上